

数学(3)

一般選抜

高等学校で学ぶ数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列），数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）の知識・技能を前提にしつつ，これから本学で学ぶ上で重要な学力のうち，論理的に考える力，数量的に判断する力，図的・空間的に表現する力の評価を目的として出題しました。なお旧課程で数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル）を履修した受験生にも配慮しています。60分という限られた試験時間の中で，これらの学力を段階的かつ総合的に評価するため，大問3問構成のマークシート方式とし，うち1問は数学Ⅲの微分法，積分法の出題としました。残り2問は主に数学A，数学B，数学Cの内容を中心に出题しましたが，24日と25日の試験で異なる分野を扱い，学力をより多面的に評価できるよう配慮しました。